

酒匂川で採集されたカマキリ（アユカケ）について

勝呂尚之

Naoyuki Suguro : On *Cottus kazika* Collected at Sakawa River.

はじめに

カマキリ（アユカケ）*Cottus kazika* は、カジカ科に属する降河回遊魚で、日本固有種である。分布は、太平洋側・神奈川県以南、日本海側・秋田県以南の本州、四国および九州であるが、全国的に減少している（後藤, 1989）。水産庁が希少水生生物に関してその分布・生態等を取りまとめた資料では、本種は、減少種と評価されている（杉本剛士, 1995）。

県内では、相模川、酒匂川および早川に生息していたが、その採集記録は少なく、県のレッドデータ生物調査報告書（神奈川県立生命の星・地球博物館, 1995）に、絶滅危惧種（県内に分布してい

るが、過去と比較すると分布域が狭まり、このままでは県内での生育・生息があやぶまれるもの）として掲載されている。1980年以降、特にその記録は少なく、相模川では平塚市四ノ宮（斉藤, 1984, 浜口他, 1987）、酒匂川では河口（神奈川県淡水魚増殖試験場, 1984）、酒匂橋（神奈川県淡水魚増殖試験場, 1985）があるだけで、県下河川からの絶滅が危惧されていた。しかし、今回、酒匂川において、アユの釣り人により、偶然本種が捕獲されたので報告する。

報告に先立ち、魚体を提供していただいた加藤学さん、カマキリの採集記録を御紹介いただいた茨城県内水面試験場の根元隆夫氏、栃木県水産試

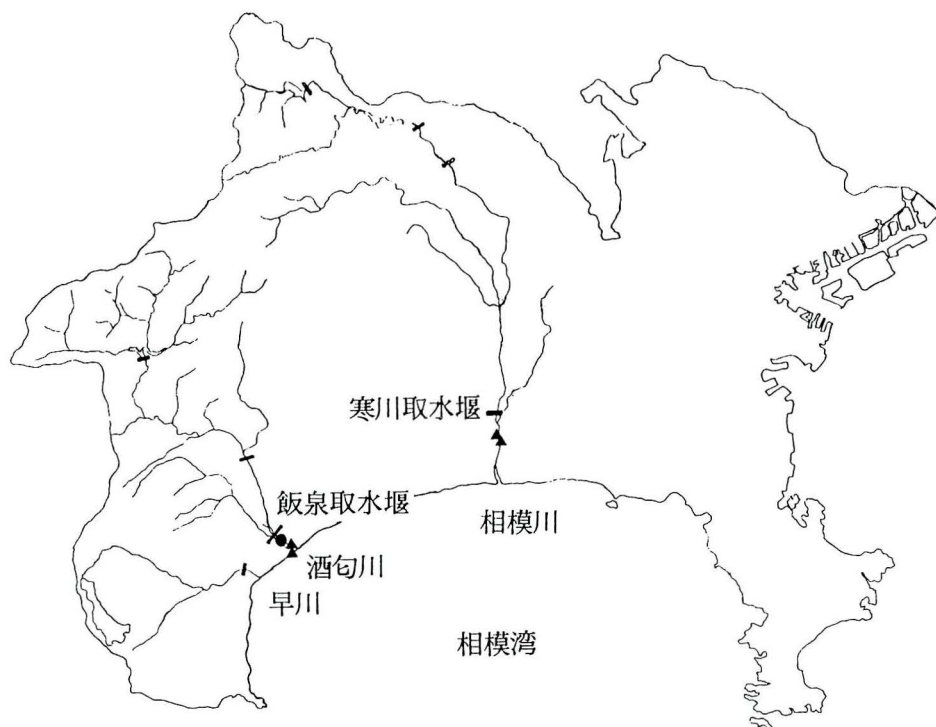


図1 神奈川県におけるカマキリ採集地点。

- ；今回のカマキリ採集地点,
- ▲；過去（1980年以降）のカマキリ採集地点,
- ；主要な堰

験場の中村智幸氏をはじめとする各都県水産試験場および千葉県立中央博物館のみなさん、神奈川県自然保全研究会の荒尾一樹氏に感謝の意を表します。また、酒匂川漁業協同組合の内田康春組合長をはじめとして県内における本種の目撃情報を提供頂いたみなさんに深謝する。

採集状況

1995年6月17日、酒匂川の下流にある小田原大橋付近の瀬で、アユの友釣りをしていた小田原市在住の加藤学さんが偶然釣り上げ、相模原市大島にある県水産総合研究所内水面試験場の水槽に収容された(図2)。加藤さんは、他にも同日・同場所です小型の個体を2尾釣り上げ、放流したと言う。

採集地点は、酒匂川の河口から約1.5kmの小田原大橋付近である(図1)。上流に飯泉取水堰があるため、水量が減少し河川の中心部には、中州が多く見られ、浅い早瀬や平瀬が続いている(図3)。付近は、シーズン中はアユの釣り人で賑わい、秋には、酒匂川における主要なアユ産卵場の一つとして重要な水域である。(神奈川県淡水魚増殖試験場, 1984, 1985)。

採集魚の測定結果

採集された個体は、全長16.5cm、体長13.9cm、体重63.1gで、雌雄は不明である。同試験場の玄関ホールにある展示水槽において循環ろ過式で飼育され、元気な姿を見ることができる(1995年10月1日現在)。

最近の神奈川県における生息状況

著者は、ここ数年間、関係の漁業協同組合や釣り人等からカマキリに関する情報収集を行っている。最近の本種の目撃情報は相模川と酒匂川に限られているが、合計で十数件ほどあった。その中には、カマキリを採集したので飼育しているとの情報も数件あったが、筆者が確認に出向くと、本種ではなくカマツカやカジカあるいはカワアナゴであった。

漁業者や釣り人にとっては、本種をカジカあるいはハゼ類と見分けることは困難なようで、目撃の情報をすべて鵜呑みにするわけにはいかないようだ。しかし、その中で、採集の時期・場所・方法が、今回とほぼ同じ情報が2件あり、1995年の夏には、酒匂川の小田原大橋付近において本種が複数生息していた可能性が高い。

しかしながら、県内水面試験場が1995年6月に

酒匂川河口付近と飯泉取水堰下流、同年9月に小田原大橋付近で投網および電気ショッカーを使用して詳細な魚類調査を行ったところ、本種は採集されず(県内水面試験場、未発表)、本種の生息個体数は非常に限られていると推察される。

カマキリは、小さな堰でも遡上できず(名越, 1962)、実験的にもその遡上能力の低さが証明されている(建設省近畿地建, 1993)。酒匂川には、河口から約2kmの地点に上水用の飯泉取水堰があるため、本種がその上流へ遡上できず、飯泉取水堰より上流には生息しないものと思われ、酒匂川のカマキリは河口から飯泉取水堰までのごく限られた水域にほぼそと生息しているのであろう。

本種が生息する可能性のある相模川や早川でも、河口に近い下流域に大きな堰があり、酒匂川と状況は似通っているので、県内での本種の生息可能な水域はかなり限定されていると言えるだろう。

神奈川県周辺都県の生息状況

本県に隣接する静岡県では、過去にはほとんすべての河川に分布していたらしいが、近年、絶滅してしまったと思われる川が増え、本種が生息する川でも生息数は著しく減ったと言う(板井, 1982)。しかし、本県に比べると本種の生息に適した河川が多いようで、伊豆半島における魚類調査(林ほか, 1982)では、白田川、河津川、青野川等の5河川で、また、河口域における調査(金川, 1988)では、波多打川、興津川等の4河川においてカマキリが採集されている。また、最近の河川水辺の国政調査でも富士川(建設省, 1993)、狩野川、阿部川、天竜川(建設省, 1995)での生息が確認されている。

本種は過去には現在より分布域が広く、東京都以北にも生息の記録がある(渡部, 1958)が、現在の分布域は、本州の神奈川県以南とされる(後藤, 1989)。しかし、最近、茨城県においてカマキリが採集された(茨城県, 1994)。1994年の5月に、久慈川で1尾が確認されただけだが、その後も同河川において1994年と1995年に本種が採集されている(茨城県内水面試験場、未発表)。また、栃木県においても那加川で採集されていると言う(栃木県水産試験場、未発表)。最近の地球規模の温暖化や黒潮の流路変化等の環境変化により、本種の分布域の拡大が起こったののであろうか。あるいは、周辺海域や河川の水質浄化により本種の生息できる水域が増加したのでであろうか。ここ数年、

県内で姿を見られなかった本種が酒匂川で確認された原因も、これらの河川への遡上と関連があるかも知れない。

なお、他県での生息状況について、筆者が東京都、埼玉県、群馬県および千葉県の水産試験場や博物館に問い合わせたところ、本種の最近の記録および目撃情報はないとのことであった。今後の本種の関東地方における分布の動向が注目される。

おわりに

カマキリは、遡上能力が弱いため、河川改修等の環境変化に対する指標種となり得る。本種の分布や資源動態に着目し、その生息環境が確保されるような水域を残すことが重要で、それが健全な河川生態系を保全し、結果として「魚に優しい川づくり」になるのではないだろうか。

今後ともカマキリの生態を解明し、保護対策を推進するため、隣県を含めた調査および情報収集を行う必要があり、関係の情報をお持ちの方は、県内水面試験場まで連絡を下さるよう宜しくお願いします。

参考文献

浜口哲一・長峯嘉之,1987. 相模川中下流域魚類相への追加と訂正. 自然と文化, (10): 1-8.
林公義・長峯嘉之・伊藤孝・水野信彦,1982. 神奈川県西部および伊豆半島の淡水魚類調査について(予報). 神奈川自然誌資料, (3): 67-78.
板井隆彦,1982. 静岡県の淡水魚類. 208 + iv pp. 第一法規, 東京.
後藤晃,1989. アユカケ. 川那部浩哉・水野信彦編・

監修. 山溪カラー名鑑 日本の淡水魚, pp655-657. 山と溪谷社. 東京.
茨城県,1994. 平成4年度 さけ・ます増殖効率化推進事業報告書.
神奈川県立生命の星・地球博物館,1995. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書.
神奈川県淡水魚増殖試験場,1984. 酒匂川漁場環境調査報告書(昭和58年度).
神奈川県淡水魚増殖試験場,1985. 酒匂川漁場環境調査報告書(昭和59年度).
金川直幸,1988. 静岡県の河口域魚類—神奈川県との比較—. 神奈川自然誌資料, (9): 1-13.
建設省監修・(財)リバーフロント整備センター編集,1993. 平成2・3年度河川水辺の国勢調査年鑑 魚介類調査編. 786pp. 山海堂. 東京.
建設省監修・(財)リバーフロント整備センター編集,1995. 平成4年度河川水辺の国勢調査年鑑 魚介類調査編. 786 pp. 山海堂. 東京.
建設省近畿地方建設局福井工事事務所,1993. アラレガコについて.
名越 誠・川那部浩哉・水野信彦・宮地傳三郎・森主一,1962. 川の魚の生活 III, オイカワの生活史を中心として. 生理生態, (82): 15-16.
斉藤和久,1984. 神奈川県の淡水魚類分布状況. 神奈川県の水生生物, (6): 133-166.
杉本剛士,1985. カマキリ, 水産庁編, 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料—II, pp.370-396.
渡部正雄,1958. 日本産カジカ科魚類の研究. 461pp. 角川書店, 東京.

(神奈川県水産総合研究所内水面試験場)

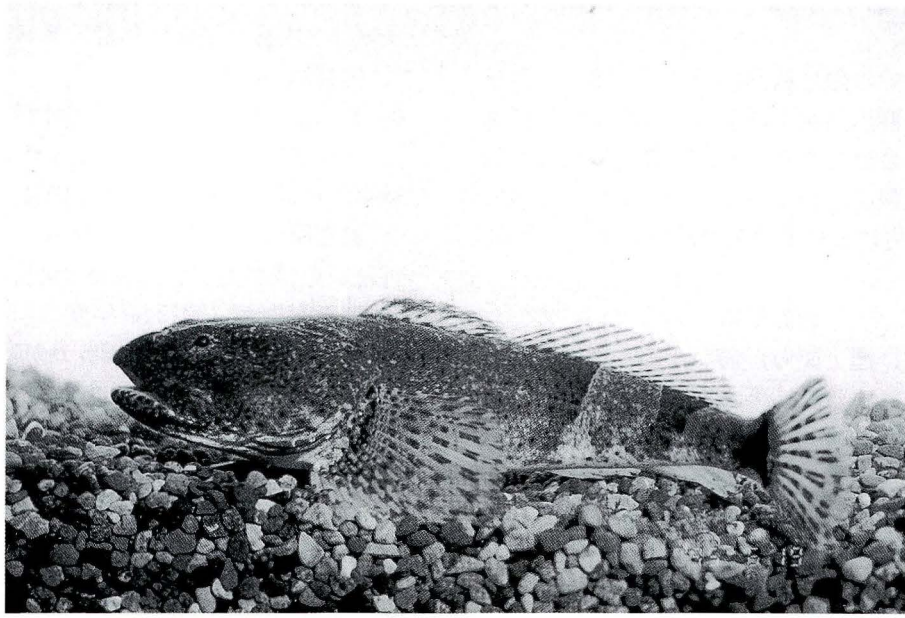


図2 酒匂川において採集されたカマキリ（県内水面試験場展示水槽）

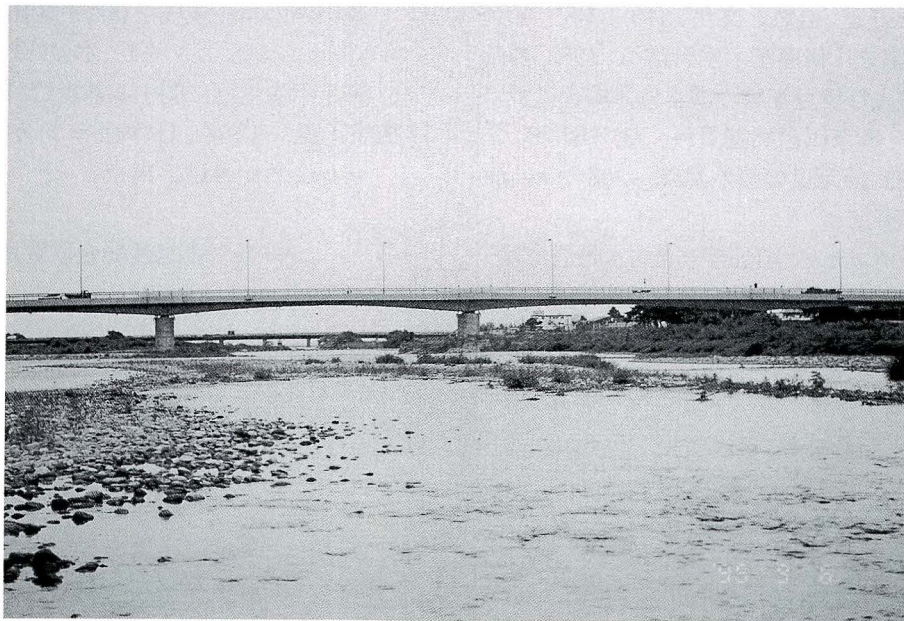


図3 カマキリ採集地点（酒匂川小田原大橋付近）における周辺環境